

[前画面へ戻る](#)

科目名	都市経済論Ⅱ
配当年次	3年次
開講期間	秋学期
単位数	2
担当教員	高橋 達(タカハシ トオル)
期間・曜日・時限・教室	秋学期 火曜日 1時限 2 3 - 4 1 2

※

授業の目的・目標 【授業の概要】

皆さんが社会に出て一人暮らしを始める状況を想像してください。住む場所は都心部と郊外のどちらを選びますか？都心部に住むと、勤務先にも近く通勤時間が短いですが、部屋は狭く家賃も高いです。郊外に住むと、部屋は広く家賃も低いですが、通勤に長い時間を費やさなければなりません。このように、皆さんが都市内のどこに住むかを決めるとき、都心部へのアクセスの良さと住宅環境の間のトレード・オフに直面しています。

都市経済論Ⅱ（または、都市経済論B）では、この通勤費と住宅価格の関係に着目し、都市における土地利用について分析する手法を学びます。

この科目は経済学部設置されている地域・環境コースの専門科目です。同コースを選択する方の積極的な履修を期待します。

【授業の目的】

都市における土地利用の理論を理解し、説明できるようになることを目的とします。

【修得できる力】

経済学部ディプロマポリシーのうち、以下に該当します。

- ① 経済学についての基礎知識を修得している。（○）
- ③ 経済学を中心とする社会科学の知識をもとに、現代経済社会の諸問題について主体的に考えて分析し、解決策の提案ならびに考察できる。（◎）

【授業の到達目標】

都市内の土地利用に関する理論を理解し、実経済の分析に応用できることを目標とします。

【実務経験と授業内容との関連】

なし

【地域に係る科目について】

該当しない

毎回の授業の予復習に、以下の時間を費やすことが目安となります。

予習（1時間45分）：講義資料により、授業の大まかな流れをつかんでおくことが
準備学習等の指示 望めます。次回対象となる項目については各授業の終了時に説明します。

復習（1時間45分）：毎回の授業内容に関係する確認テストを課します。授業で取り上げた重要なポイントを中心に、ノートを見直し論点を整理して解答してください。

講義スケジュール 第1回 イン트로ダクション: 都市経済論Ⅱ（都市経済論B）の内容を概観できる。

【テーマ】

【到達目標】

【準備学習】シラバスを熟読すること

【特記事項】対面授業です。

第2回

【テーマ】土地市場と住宅市場

【到達目標】統計データを用いて、日本の土地市場と住宅市場の現状を理解できる。

【準備学習】講義資料の該当部分を熟読すること。

【特記事項】オンライン授業です。

第3回

【テーマ】農業用地と工業用地の地代

【到達目標】農業地代と工業地代がどのように決定するか、地代と土地価格の関係を理解する。

【準備学習】講義資料の該当部分を熟読すること。

【特記事項】オンライン授業です。

第4回

【テーマ】都市内土地利用の分析(1)

【到達目標】アロンゾ型都市モデルを学習する準備として、交通費が予算制約に与える影響や合成財について理解できる。

【準備学習】講義資料の該当部分を熟読すること。

【特記事項】オンライン授業です。

第5回

【テーマ】都市内土地利用の分析(2)

【到達目標】アロンゾ型都市モデルにより、付け値曲線を導出できる。

【準備学習】講義資料の該当部分を熟読すること。

【特記事項】オンライン授業です。

第6回

【テーマ】 都市内土地利用の分析(3)

【到達目標】 目標とする効用水準の変化が付け値曲線に与える影響を説明できる。

【準備学習】 講義資料の該当部分を熟読すること。

【特記事項】 オンライン授業です。

第7回

【テーマ】 都市内土地利用の分析(4)

【到達目標】 住人の所得の変化が付け値曲線に与える影響を説明できる。

【準備学習】 講義資料の該当部分を熟読すること。

【特記事項】 オンライン授業です。

第8回

【テーマ】 都市内土地利用の分析(5)

【到達目標】 住人の効用水準と所得が異なる付け値曲線の関係を説明できる。

【準備学習】 講義資料の該当部分を熟読すること。

【特記事項】 オンライン授業です。

第9回

【テーマ】 都市内土地利用の分析(6)

【到達目標】 アロンゾ型都市モデルにより、地代と都市の境界の決定について説明できる。

【準備学習】 講義資料の該当部分を熟読すること。

【特記事項】 オンライン授業です。

第10回

【テーマ】 都市内土地利用の分析(7)

【到達目標】 アロンゾ型都市モデルにより、所得の異なる経済主体の分離居住を説明できる。

【準備学習】 講義資料の該当部分を熟読すること。

【特記事項】 オンライン授業です。

第11回

【テーマ】 都市内土地利用の分析(8)

【到達目標】 アロンゾ型都市モデルにより、都心に外部不経済がある場合の地代決定について説明できる。

【準備学習】 講義資料の該当部分を熟読すること。

【特記事項】 オンライン授業です。

第12回

【テーマ】 都市内土地利用の分析(9)

【到達目標】 アロンゾ型都市モデルにより、通勤費用や人口の変化が地代にどのように影響するかを分析できる。

【準備学習】 講義資料の該当部分を熟読すること。

【特記事項】 オンライン授業です。

第13回

【テーマ】 総括

【到達目標】 都市経済論Ⅱを総括できる。

【準備学習】 講義資料の該当部分を熟読すること。

【特記事項】 対面授業です。

教科書 講義ノートを用いて授業します。WebClassにて48時間前を目標に配布します。必ず印刷して授業に臨むようにしてください。

参考文献 佐々木公明・文世一（2000）『都市経済学の基礎』有斐閣

第1回と第13回は対面授業です。第2回から第12回まではオンライン（オンデマンド）授業です。オンデマンド授業の受講方法は初回の授業時に説明します。

授業の方法 講義形式の授業をします。
毎回の確認テストについては、次回の授業時に解説によりフィードバックします。
講義（確認テストを含む）の連絡、資料の配布はWebClassを利用します。

評価方法】

期末試験（対面での実施）、確認テスト

【割合】

成績評価方法 期末試験（50%）、確認テスト（50%）

【評価基準】

- ・ 期末試験は対面にて行います。
- ・ 確認テストは授業の内容に関する基礎的な問題を出題します。
- ・ 学則に基づき、13回の授業の内、1/3（5回）以上欠席をすると、単位を認めることはできません。

オフィスアワー 火曜日 昼休み

居室 23号館313室

ホームページ

その他特記事項

- ・ ミクロ経済学の基礎的な知識（ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱに相当する内容）を学習済みであることを前提とします。
- ・ シラバス上、オンライン授業となっている回においても、対面授業となる可能性があります。
- ・ シラバスを熟読していることを履修の前提とします。

添付ファイル

[前画面へ戻る](#)